

今日のキーワード OPECは「協調減産」を継続（グローバル）

OPEC（石油輸出国機構）は、国際石油資本から石油産出国の利益を守ることを目的として、1960年9月に設立されました。加盟国は2017年5月現在で13カ国を数えます。その原油生産量は世界の33%程度を占め、原油の供給や価格形成といった面で依然、重要な役割を担っています。OPECの最高意思決定機関は、全加盟国が参加する総会です。直近の総会は5月25日に、ウィーンで開催されました。

ポイント1

OPECは「協調減産」継続で合意 OPEC非加盟10カ国も減産継続を決定

- 2017年5月25日、OPEC（石油輸出国機構）はウィーンで開催された総会で、当初17年6月末だった「協調減産」の期限を9カ月延長することで合意しました。減産措置の新たな期限は18年3月末となります。
- これを受けて、ロシアやバーレーン、ブルネイ、マレーシアなどOPEC非加盟の10カ国も、9カ月間の減産延長を決定しました。

ポイント2

OPECは減産合意を遵守 非加盟国もOPECに協調

- OPEC月報17年5月号によれば、4月のOPEC原油生産量は日量3,173万バレルでした。16年11月の臨時総会で合意に達した生産枠である同3,250万バレルに対し、77万バレル低い水準です。1-3月期実績の同3,194万バレルとの比較では、同21万バレルの減産となります。
- 協調減産の遵守状況を点検するために設置された「OPECおよび非OPEC合同監視委員会」によると、減産の遵守率は17年4月時点で、前月比4ポイントの上昇の102%となりました。全体として合意が履行されたことを示すものです。

【OPEC加盟国の原油生産枠と生産実績】

国名	生産枠	生産（2017年）	
		1-3月	4月
サウジアラビア	1,006	989	995
イラク	435	443	437
イラン	380	380	376
UAE	287	293	284
クウェート	271	271	270
ベネズエラ	197	200	196
アンゴラ	167	163	169
アルジェリア	104	106	105
カタール	62	61	62
エクアドル	52	53	52
ガボン	19	20	21
リビア	-	66	55
ナイジェリア	-	151	151
OPEC総計	3,250	3,194	3,173

(注1) 単位は万バレル/日量。リビアとナイジェリアは生産枠の設定を免除されています。

(注2) 四捨五入の関係で各国生産量および生産枠の合計はOPEC総計と必ずしも一致しません。

(出所) OPEC月報2017年5月号等より三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

原油価格は底堅い展開へ

- OPEC総会が開催された5月25日の原油価格は、WTIで見て1バレル当たり48.9ドル（前日比同▲2.5ドル）となり、節目の同50ドルを割り込みました。「協調減産」継続の合意は成立しましたが、より長い期間にわたる減産など、高まっていた市場の期待に届かなかったためです。
- OPECの減産が維持される限り、原油需給が大きく崩れる可能性は低く、今後、原油価格は持ち直すと考えられます。もっとも、価格が同55ドル～60ドルを超えてくると、シェールオイル増産の公算が大きく、上値は限られると考えられます。

ここもチェック!

2017年5月16日 OPEC「生産枠」遵守で需給好転へ（グローバル）
2017年4月13日 原油価格の動向（2017年4月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。